

平成24年度確かな学力向上のための具体的取組 **計画**

大館市立釈迦内小学校

## ねらい：確かな学力の向上を図る

提言との関連(学力の三要素①②③)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得 | ② 思考力・判断力・表現力等の育成  |
| ③ 学習意欲・学習習慣の向上     | ④ 生徒指導の機能を生かした学習指導 |
| ⑤ 積極的な研修           |                    |

## 1 自校の「学校評価」から実践課題と主な取組

評価指標	実践課題	主な取組	提言との関連
基礎学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基礎基本, 学習習慣の定着</li> <li>・復習の時間の確保</li> <li>・個に応じた学習指導の充実</li> <li>・諸調査の結果を活用した指導改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善を意識した「学習のしつけ」の取り組み</li> <li>・学習のやくそく定着の工夫</li> <li>・授業改善振り返りカードの作成と活用</li> <li>・全校での暗唱, 学年に応じた(都道府県、かけ算など)検定試験の実施</li> <li>・朝学習(復習, 作文, 計算, 漢字, 読書)の充実</li> <li>・TTの効果的な活用, 放課後等を利用した補充指導, 家庭学習の奨励</li> <li>・検査終了後の補充と日常指導への活用</li> </ul>	①③ ①③ ②⑤ ①  ① ①③  ①③
教師の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きてはたらく力を高める」ための授業改善</li> <li>・より一層の一部教科担任制の実施</li> <li>・校内のテーマに即した実践的研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動や日常場面の中からの問題づくり(問わない問い)と実践の蓄積</li> <li>・「使うべき基礎」「学ぶべき基本」を意識した授業の構築</li> <li>・「秋田のそごちから」を意識した授業の構築</li> <li>・教科担任制のメリットを生かした実践</li> <li>・研究仮説に沿った一人一授業の提案と検証</li> </ul>	⑤  ②⑤ ②⑤ ⑤ ⑤
思いやりの心 たくましい心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに認め合い, 励まし合う場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくりを基本とした学級経営と, 集団の中で個々の力が発揮できる活動の推進</li> <li>・認め合い, 励まし合う学級集団(雰囲気づくり, ほめる言葉, 仲間づくり, 学級組織)</li> <li>・めあてや頑張り, 自分の成長が意識できる振り返りカードの活用</li> </ul>	④  ④ ③④

## 2 実践課題を解決するための「共通実践事項」に対応する取組

共通実践事項	具体的な取組	備考
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	◎市教研総合研究会や交流授業への参加・協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い実践の共有化のための研究視察や教育課程研究協議会の内容の共有化</li> <li>・小・中学校における学習習慣や家庭学習についての情報交換</li> <li>・市「パワーアップの手引き」の活用</li> </ul>	・二中との小中連携
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	◎実生活における活用場面の意識化と活用問題(問わない問い)の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領のねらいから, 1時間ごとの授業のねらい「使うべき基礎」「学ぶべき基本」を明確にした授業の取り組み</li> <li>・学習内容を深めるための言語活動の充実</li> <li>・体験学習の充実と地域学習材の開発</li> <li>・「秋田のそごちから」を活用した授業改善</li> </ul>	「学習指導要領解説」「言語活動の充実に関する指導事例集」 「秋田のそごちから」(県教育センター)を意識した授業

(◎自校の課題解決のために特に力を入れたい具体的な取組)